

「助けて」と言える社会へ

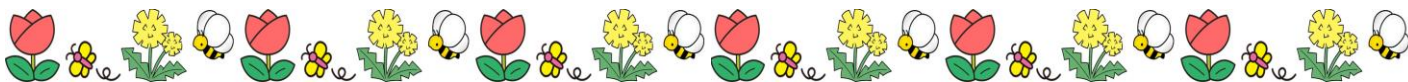
少子高齢化を身近に感じるようになり久しいです。総務省が令和元年の敬老の日にあわせてまとめた人口推計によると65歳以上の高齢者の割合は28.4%だそうです。2042年には日本の65歳以上の人口は全体の35%を超えるそうです（国立社会保障・人口問題研究所推計）。丹波篠山市では平成31年3月末の65歳以上の高齢者の割合は33.7%です。市内を19地区に分けてみると、高齢者の割合が一番高い地域では49.1%で2人に1人が高齢者という状態です。



私たちのこれからの生活を考えたとき、家族に頼るだけでなく地域全体でお互いを助け合っていないと安心して住み慣れた場所で暮らしていきけません。お互いに遠慮しないで「助けて」「手伝ってほしい」と言える社会をめざしていくことが必要だと思います。

この度、北九州市で30年以上ホームレスの人の支援を続け、ホームレスの人が路上生活から脱し、自立していくのを支援しておられる奥田知志さんを講師に迎え講演会を開催します。私たちにもできる地域共生に向けた取り組みの参考になるお話です。

ご近所・友人等お誘い合わせいただき、多くの方がご参加くださいますようお願いしております。



日時 令和2年3月5日(木) 午後7時30分～9時(予定)
場所 丹波篠山市民センター 2階 催事場1・2
丹波篠山市黒岡191
演題 「助けて」と言える社会へ
～家族機能の社会化とは何か～
講師 奥田 知志(おくだ ともし)さん
NPO 法人抱樸(ほうぼく) 理事長



※手話通訳あります

託児あります

(託児希望の場合のみ、2月28日(金)までに下記へお申し込みください)



【主催及びお問い合わせ先】
丹波篠山市民生活部人権推進課
〒669-2397 丹波篠山市北新町4-1番地
電話：079-552-6926
FAX：079-554-2332
E-mail：jinken_div@city.sasayama.hyogo.jp

